

2017 年度全国直売所研究会総会

開催日時:2018 年 5 月 30 日 午後 1 時 30 分
開催場所:東京都中野区中野 4-1-1 中野サンプラザ

式次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事
 - 第 1 号議案 第 13 期の事業報告および収支決算承認の件
 - 第 2 号議案 第 14 期の事業計画(案)および収支予算(案)承認の件
 - 第 3 号議案 監査役選任の件について
 - 第 4 号議案 その他
5. 議長解任
6. 閉会

第1号議案 第13期の事業報告および収支承認の件

(事業報告)

昨年度より引き続き「直売所の学校 2017」を3回開催し、参加者は延べ40人であった。独自の個性的な販売促進・交流企画、そして、それらに技術的な知識を加えたサービスは、直売所とスーパーを差別化するうえで欠かすことができないものである。開催地はテーマに沿う形で、各回長崎県おおむら夢ファームシュシュ、茨城県みずほの村市場、滋賀県あいとう直売館を中心に、専門家による講習と関連施設の視察が行われた。

経営研究会は2回開催した。第13回は「レジシステムと軽減税率」の講習を、財務省、国税庁、中小企業庁の担当者から、また、賛助会員各社よりレジの現物が運ばれ、それぞれのシステムについての解説があった。その後、普及の進むセミセルフレジの現地視察も都内で実施された。

第14回は福島県郡山市でテーマを「直売所の危機管理」とした。東日本大震災、原発事故という大きな災害に直面した、農産物直売所ベレッシュにおける被害、対策、そして復興の過程を詳しく知ることが出来た。

これら研究会における、開催地の直売所、また関係者による手厚いもてなしに心から感謝したい。

本年度の会員数は、直売所会員38、賛助会員11、個人会員7であり、賛助会員として2企業が新たに入会した。

(総会、研究会等)

1. 総会

2017年5月31日 場所:東京 中野サンプラザ

総会、研究会、終了後に懇親会

(研究会)

テーマ「農業総合研究所の事業展開について」

株式会社農業総合研究所 代表取締役 及川智正先生

2. 直売所の学校2017

【第1回】

開催日時 2017年9月5日(火)～6日(水)

開催場所 長崎県大村市

参加者 12名

テーマ 直売所における六次産業化～地域資源を使った総菜開発を中心に
9月5日(火)

・講義1 おおむら夢ファームシュシュの6次産業化

(有)シュシュ代表取締役 山口成美先生

・6次産業化施設の見学

・講義2 直売所での総菜開発のポイント①

(有)シュシュレストラン店長 池添憲明先生

・フリーディスカッション

・交流会

9月6日(水)

・諫早干拓 (株)オーガニックランドながさき見学

・諫早市「大地のめぐみ」視察

・直売所での総菜開発のポイント②(おおむらシュシュ)

(株)福岡中央青果 福島 三太先生

アイコムズ(株) 大塚 幸先生

・質疑と総括 (有)ベネット 青木 隆夫

- ・梨狩り、ブドウ狩り体験

【第2回】

開催日時 2017年11月21日(火)～22日(水)

開催場所 茨城県つくば市つくば国際会議場(エポカルつくば)ほか

参加者 19名

テーマ 直売所の接客について

11月21日(火)

- ・講義1 「接客の極意1」

(株)小さな流通研究所代表取締役 鎌田定宗先生

- ・視察 ポケットファームどきどき牛久店、えるふ農国

- ・交流会

11月22日(水)

- ・みずほの村市場見学

- ・講義2 「みずほの村市場の経営と接客術」

(株)みずほ代表取締役 長谷川久夫先生

- ・昼食 「坂東太郎研究学園総本店(029-875-6171)」

- ・講義3 「接客の極意2」

(株)坂東太郎代表取締役会長 青谷 洋治先生

- ・まとめと質疑応答

(有)ベネット 青木 隆夫

【第3回】

開催日時 2018年3月12日(月)～13日(火)

開催場所 滋賀県東近江市あいとう直売館ほか

参加者 25名

テーマ 直売所向け多品目栽培の実践

3月12日(月)

- ・あいとう直売館視察

- ・講義1 「300品目を出荷！あいとう直売館の取り組み」

一般財団法人愛の田園振興公社 藤関 明雄先生

あいとう直売館運営協議会会長 野村秀一郎先生

湖東農業協同組合営農販売課 福島 正剛先生

- ・講義2 「本物野菜の育て方」

みずほの村市場

高橋 広樹先生

- ・講義3 「病害虫診断と土壌分析」

イノチオ中央研究所

林 耕一先生

石丸 梢先生

渡邊 幸恵先生

- ・質疑応答

- ・交流会 ファームキッチン「野菜花(のなか)」

3月13日(火)

- ・いちご圃場視察といちご狩り 田村農園

- ・池田牧場視察 説明:池田喜久子専務

- ・「きてかーな」「びわこだいなか愛菜館」「ラコリーナ近江八幡」視察

3. 経営研究会

第13回経営研究会

2017年7月 テーマ「レジシステムと軽減税率」

開催日時 2017年7月5日(水)

開催場所 中野サンプラザ15階リーフルーム

参加者 29名

・基調講演

1)消費税軽減税率制度の概要

財務省主税局税制第二課 係長 村田 淳浩先生、畑尾 傑人先生
国税庁消費税軽減税率制度対応室 企画専門官 池永 晃造先生

2)複数税率対応事業者への支援措置

中小企業庁事業環境部財務課総括係長 増田 悟先生

・会員メーカー各社によるシステムの特徴と解説及び質疑

1)東芝テック株式会社

2)株式会社イシダ

3)株式会社寺岡精工

・展示、実演等

・都内の最新生鮮物流事情、およびレジシステムの視察

「ナチュラルハウス青山本店」「ドン・キホーテ渋谷店」

・交流会

第14回経営研究会

テーマ 「直売所の危機管理～東日本大震災、原発事故からの復活とさらなる発展」

開催日時 2018年2月6日(火)～7日(水)

開催場所 福島県郡山市農産物直売所ベレッシュほか

参加者 18名

2月6日(火)

・農産物直売所ベレッシュ視察

・大内ファーム視察(トマト、キュウリ、メロンほか)

・研究会

「直売所の危機管理～東日本大震災、原発事故からの復活と発展」

農産物直売所ベレッシュ代表取締役 武田 博志先生

専務取締役 武田 博之先生

・交流会

2月7日(水)

・郡山市磐梯熱海観光物産館視察 ベレッシュが指定管理者として5月から運営

・「6次化の合理的な進め方」郡山市青少年会館ウエストスポーツパーク

山際食彩工房代表 山際 博美先生

4. 会報の発行

メールで情報を配信

5. 商品交流の推進

メールや研究会で直売所間の商品交換を推進した。

6. 会員募集

会員限定の直売所の学校、経営研究会の充実で会員相互のコミュニケーションを高めた。また、行事への参加を呼び掛けることで入会を促した。

7. 義援金

水害(北九州豪雨)の三連水車の里あさくらへ35万円

(役員会)

2017年

5月12日 場所:大阪市阿倍野市民センター

- ・決算報告について
- ・次年度事業の検討について
- ・総会資料について

5月31日 場所:中野サンプラザ

- ・総会の運営について
- ・第13回経営研究会について

7月5日 三役会 場所:中野サンプラザ

- ・第1回直売所の学校について

10月25日 場所:東京八重洲ホール

- ・第2回直売所の学校について
- ・新賛助会員および会員の募集について

11月21日 場所:つくば市ホテルオークラ

- ・第3回直売所の学校について
- ・第14回経営研究会について

2018年

2月6日 場所:福島県郡山市

- ・会員の募集について
- ・2017年度の事業報告について

3月2日 場所:滋賀県東近江市

- ・2018年度の事業計画について

収支決算（案） 自2017年4月1日 至2018年3月31日 単位 円

収入の部		2017年度予算	2017年度決算	増減	備考
年会費	直売所会員	2,250,000	1,900,000	-350,000	38直売所
	賛助会員	1,100,000	1,050,000	-50,000	11社
	一般会員	40,000	35,000	-5,000	7名
入会金		50,000	20,000	-30,000	賛助会員2
総会費用			120,000	120,000	総会交流会
直売所の学校		800,000	445,000	-355,000	3回
その他			22	22	利息
繰越金		217,988	400,337	182,349	
収入合計		4,457,988	3,970,359	-487,629	

支出の部		2017年度予算	2017年度決算	増減	備考
総会費		350,000	340,634	-9,366	講師料、交流会費も含む
会報制作費		100,000		-100,000	1回分
通信・発送費		160,000	68,120	-91,880	
事務局費		720,000	720,000	0	
直売所の学校		1,000,000	939,137	-60,863	長崎、茨城、滋賀
経営研究会		200,000	282,409	82,409	東京、郡山
会議費		150,000	81,138	-68,862	会議室賃借料ほか
交通費		1,200,000	1,431,962	231,962	役員会ほか
ホームページ		180,000			
雑費		397,988	55,039	-342,949	文具、振込手数料
支出合計		4,457,988	3,918,439	-539,549	

繰越金 51,920

義援金 350,000 三連水車の里朝倉

監査報告書

2018年4月25日、理事から提出された、事業報告書および収支について、会計に関する帳簿、書類、銀行通帳を閲覧し、照合および報告の聴取により監査した。会の規定どおり収支の状況を正しく表示していると認める。

2018年4月25日
全国直売所研究会

全国直売所研究会

監事 鎌田 定宗

監事 苫米地祥文



第2号議案 第13期の事業計画および収支予算承認の件

(事業計画)

農産物直売所は、物販に加えて新鮮な農産物を通じて、農業者と市民の信頼関係の構築する拠点でもある。この信頼関係をより深めるためには、農産物を食というカタチに変え、胃袋で農業の役割を市民に理解させる必要もある。食は、地域市民だけではなく、通過客や観光客、外国人にもその地域の個性をストレートに伝えることが出来る。また、農と食を結びつける仕組みづくりは、直売所関係者に対する市民からの欲求でもある。様々な外部からのニーズを満足させるため、既存施設の機能強化によるステップアップは、どの直売所にとっても当面する課題となっている。

本会では、現実の課題を見据え、今後の進むべき方向を明らかにし、直売所運営に具体的に役立つ研究活動をより一層充実させたい。

1. 総会

2018年5月30日 場所:東京 中野サンプラザ

総会、研究会、終了後に懇親会

(研究会)

・【新企画】6次化商品展示会

・記念講演会

「多品目少量栽培で成功できる!! 小さな農業の稼ぎ方～栽培技術と販売テクニック」

(有)コスモファーム代表 中村敏樹先生

2. 直売所の学校2018

「差別化の決定版! 地域食材を利用した惣菜づくり～最新式器具機材による合理化と衛生管理」

講義/実践演習/ケーススタディ/ディスカッション

2018年12月 セミナー+6次化商品展示会・コンテスト他(一般参加受入れ) 場所:東京

3. 経営研究会

第15回経営研究会

2018年8月 テーマ「観光・インバウンドと農産物直売所」 場所:千葉県

第16回経営研究会

2019年3月 テーマ「直売所における飲食施設の運営」 場所:

4. 海外視察団の派遣

第1回「農産物のブランド化と高付加価値販売～台湾の現状から日本を見る」

2018年10月23日～25日

5. 会報の発行

5. ホームページ、メールによる情報発信

ホームページを活用し、リアルタイムの情報発信を行う。

6. 商品交流の推進

ホームページ、メール等を利用し直売所間の商品交換を推進する。

7. 会員募集

直売所の学校、経営研究会の充実を図り入会を促す。

収支予算（案）自2018年4月1日 至2019年3月31日 単位 円

収入の部		2017年度決算	2018年度予算	増減	備考
年会費	直売所会員	1,900,000	2,000,000	100,000	40直売所
	賛助会員	1,050,000	1,100,000	50,000	11社
	一般会員	35,000	35,000	0	7名
入会金		20,000	20,000	0	新規2団体
総会費用		120,000	120,000	0	
直売所の学校		445,000	300,000	-145,000	1回40名
繰越金		400,337	51,920	-348,417	
金利		22		-22	
収入合計		3,970,359	3,626,920	-343,439	

支出の部		2017年度決算	2018年度予算	増減	備考
総会費		340,634	450,000	109,366	6次化商品の買上げ含む
会報制作費			100,000	100,000	
通信費・発送費		68,120	140,000	71,880	
事務局費		720,000	720,000	0	
直売所の学校		939,137	400,000	-539,137	会場費、講師料他
経営研究会		282,409	200,000	-82,409	2回
会議費		81,138	100,000	18,862	会場費
交通費		1,431,962	1,200,000	-231,962	役員会ほか
ホームページ			180,000	180,000	HPの維持、更新
雑費		55,039	136,920	81,881	
支払合計		3,918,439	3,626,920	-291,519	

第3号議案 監査役選任の件について

第4号議案 その他

全国直売所研究会会則

2005年3月8日制定
2008年6月16日改定
2010年6月10日改定
2016年7月30日改定

第1条(目的)

この会は全国各地の農林水産物直売所が互いの情報を交換し、共通理念の下に経営の向上を図り、それが地域の農業の自立発展に役立ち、市民生活の環境作りに貢献することにより、直売所を地域創造産業とすることを設立の目的とする。

第2条(会員の資格)

全国直売所研究会の会員は会員(正会員、一般会員)および法人会員(直売所会員、賛助会員)からなる。

1. 会員

(正会員)

本会の目的に賛同する直売所の代表者を正会員とする。

(一般会員)

直売所の発展を支援する関係者で入会を希望する個人を一般会員とする。

2. 法人および団体会員

(直売所会員)

本会の目的に賛同する直売所を直売所会員とする。

(賛助会員)

直売所に関連する企業等で、直売所の発展に寄与することが期待できるものを賛助会員とする。

第3条(入会・退会)

会員が入会する場合は所定の書面にて申し込み、役員会の承認を受ける。会員が会の名誉を著しく傷つけた場合、もしくは本会の目的から逸脱した行為、活動を行った場合、役員会の決議を経て除名することができる。

第4条(組織)

1. 役員会は、会員から互選された会長1名、副会長2名、理事若干名、監査2名からなる。
2. 役員任期は二年間とし、再選を妨げない。
3. 事務局は「有限会社ベネット(東京都中野区中野 5-33-9-202)」内に置き、職員が担当する。

第5条(事業)

本会は、農産物直売所の発展のために以下の事業を行う。

1. 栽培技術から商品開発、販売技能に至るまで、直売所が抱える広範な問題を解決するための研究大会の開催
2. 直売所相互の理解と親睦を深めるための交流大会の開催
3. 直売所を発展させるための情報誌の発行
4. その他本会を発展させるに必要な活動

第6条(役員会)

役員会は、会長が招集し、必要に応じ、事業計画等、本会の運営に必要な事項を審議する。

第7条(会計)

本会は、会員の年会費により運営される。本会の会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。

1. 会員

(一般会員)

入会金 10,000 円、年会費 5,000 円とする。10 月 30 日以前に入会の会員を当該年度会員とし会費全額、それ以降は半額を支払う。退会の場合も返還しない。

2. 法人・団体会員

(直売所会員)

入会金 10,000 円、年会費 50,000 円とする。10 月 30 日以前に入会の会員を当該年度会員とし会費全額、それ以降は半額を支払う。退会の場合も返還しない。

(賛助会員)

入会金 10,000 円、年会費 100,000 円とする。10 月 30 日以前に入会の会員を当該年度会員とし会費全額、それ以降は半額を支払う。退会の場合も返還しない。

第8条(総会)

総会は会計年度終了後に行い、以下の事項を審議する。

1. 前年度事業の経過報告および会計報告の承認
2. 新年度事業計画および予算の設定
3. 役員を選任
4. 会則の改正
5. その他会の運営に必要な事項

全国直売所研究会会員名簿 2018年4月30日現在

直売所会員(干順)

	直売所名	〒	住所
1	(農)農産物直売所ふれあい二戸	028-6103	岩手県二戸市石切所字中曽根11-3
2	洋野町大野農産物直売所ゆうきセンター	028-8802	岩手県九戸郡洋野町大野58-12-33
3	道の駅とわだ(株)産直とわだ	034-0051	青森県十和田市伝法寺字平窪37-2
4	ホクレンくるるの社	060-8651	北海道北広島市大曲377-1
5	(株)SKファーム	300-1214	茨城県牛久市女化町1098-4
6	(株)エルフ えるふ農国	305-0071	茨城県つくば市稲岡66-1E区画
7	(株)みずほ	305-0842	茨城県つくば市柳橋496
8	(株)坂東太郎	306-0214	茨城県古河市高野540-3
9	(株)アンフィー ふれあいファームセンター	350-1305	埼玉県狭山市入間川1166-1
10	(有)月夜野きのご園	379-1305	群馬県利根郡みなかみ町後閑1170
11	(一財)中央市農業振興公社道の駅とよとみ	400-1513	山梨県中央市大鳥居3770
12	(株)アルプス	409-3866	山梨県中巨摩郡昭和町西条2799
13	(株)TTC	413-0101	静岡県熱海市上多賀686
14	JAあいち経済連店舗部グリーン課JA愛知グリーンセンター協議会	470-1141	愛知県豊明市阿野町三本木15-1
15	(株)長久手温泉 あぐりん村	480-1102	愛知県長久手市前熊字下田134
16	(株)びわこだいなか愛菜館	523-0802	滋賀県近江八幡市大中町450-5
17	(一財)愛の田園振興公社 あいとう直売館	527-0162	滋賀県東近江市妹町184番地1
18	(株)プラス	646-0026	和歌山県田辺市宝来町17-12
19	紀ノ川農業協同組合	649-6602	和歌山県紀ノ川市平野927
20	星の郷青空市株式会社	714-1413	岡山県井原市美星町西砂水55-1
21	協同組合田布施地域交流館	742-1517	山口県熊毛郡田布施町中央南1-8
22	道の駅から直売所出荷者運営協議会	791-3301	愛媛県喜多郡内子町内子2452
23	JA西条 ときめき水都市	793-0041	愛媛県西条市神拝甲487-1
24	浜のみかん屋	797-0113	愛媛県西予市明浜町狩浜2-1960
25	横山農園	798-0104	愛媛県宇和島市下波1253
26	(株)やっばあ〜岡垣	811-4217	福岡県遠賀郡岡垣町桜台1-23
27	道の駅たちばな立花町農産物等直売所	834-0073	福岡県八女市立花町下辺春315番地1
28	三連水車の里あさくら	838-1306	福岡県朝倉市山田2192-1
29	農家直売所大地のめぐみ	854-0063	長崎県諫早市貝津町600-6
30	有限会社シュシュ	856-0005	長崎県大村市弥勒寺町486
31	平戸瀬戸市場協同組合	859-4825	長崎県平戸市市平町山内免345-15
32	(株)俵山交流館 萌の里	861-2402	熊本県阿蘇郡西原村小森2115-3
33	(有)氷川町まちづくり振興会	869-4804	熊本県八代郡氷川町大野875-3
34	(有)清川ふるさと物産館	879-6903	大分県豊後大野市清川町砂田1574-1
35	(株)せいだ	959-2304	新潟県新発田市大伝540-1
36	農産物直売所ベレッツェ	963-0551	福島県郡山市喜久田町字四十坦6番47号
37	農業生産法人(有)伊豆沼農産	989-4601	宮城県登米市迫町新田字前沼149-7
38	産直あぐり	997-0332	山形県鶴岡市西荒屋字杉下106-3

賛助会員

東芝テック株式会社 RS国営支	141-8562	品川区大崎1-11-1ゲートシティ大崎ウエストタワー9F
株式会社寺岡精工 リテイル事業部	146-8580	東京都大田区久が原5-13-12
コスモ食品株式会社	143-0016	東京都大田区大森北2-4-18 大森ビル7F
株式会社 インダ	173-0004	東京都板橋区板橋1-52-1
株式会社つくば分析センター	305-0047	つくば市千現2-1-6つくば研究支援センター D-22
株式会社新盛インダストリーズ	114-0004	東京都 北区 堀船4-12-15
サンデン・リテールシステム株式会社 国内事業本部コールドチェーン事業部	101-8583	千代田区外神田1-18-13秋葉原ダイビル10階
株式会社オーティーエス	750-0008	山口県下関市田中町3-11 力石ビル2F
東日本電信電話株式会社 ビジネス&オフィス営業推進本部プロダクトサービス 部サービスインテグレーション担当	108-8019	東京都港区港南1-9-1
株式会社向井珍味堂	547-0005	大阪市平野区加美西1-12-18
ホンザキ北関東株式会社	331-0812	埼玉県さいたま市北区宮原町3-36

個人会員

吉田 修、鎌田 定宗、山下 浩一、平岡 豊、二木 季男、森下 武子、遠上 憲一

2018 年役員

氏名	所属
会長 山口 成美	(有)シュシュ
副会長 三浦 俊荘	(有)清川ふるさと物産館
副会長 清田 雅人	(株)せいだ
理事 長谷川久夫	(株)みずほ
理事 吉田修	(株)吉田・織田合同事務所
理事 澤川 宏一	(株)産直めぐり
理事 野田 正史	(株)プラス
理事 張谷 和弘	(株)星の郷青空市株式会社
監事 鎌田 定宗	(株)小さな流通研究所
監事 瀬上 恭寛	(株)村の駅